



平成 23 年 3 月 18 日

各 位

会 社 名 日 本 ケ ミ カ ル リ サ ー チ 株 式 会 社
代表者名 取締役会長兼社長 芦 田 信
(東証・大証各第二部 コード番号 4552)
問合せ先 管理本部 総務部長 三 浦 祐 一
(TEL 0797-32-8591)

東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日平成 23 年 3 月 18 日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導並びにご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

上場に際しまして、当社の平成 23 年 3 月期の業績予想につきまして以下のとおりお知らせいたします。

また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりにお知らせいたします。添付資料は平成 23 年 1 月 28 日に公表いたしました「平成 23 年 3 月期第 3 四半期決算短信」であります。

【連結】

(単位：百万円、%)

項目 \ 決算期	平成 23 年 3 月期 (予想)			平成 23 年 3 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 22 年 3 月期 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売上高	14,600	100.0	101.5	10,513	100.0	14,387	100.0
営業利益	1,530	10.5	76.2	1,329	12.6	2,007	14.0
経常利益	1,470	10.1	79.0	1,297	12.3	1,861	12.9
当期（四半期）純利益	1,000	6.8	76.8	788	7.5	1,302	9.1
1 株当たり 当期（四半期）純利益	31 円 22 銭			24 円 68 銭		50 円 77 銭	
1 株当たり配当金 (1 株当たり中間配当金)	12 円 00 銭 (6 円 00 銭)			— (6 円 00 銭)		15 円 00 銭 (5 円 00 銭)	

(注) 1. 平成 22 年 3 月期及び平成 23 年 3 月期第 3 四半期累計期間の 1 株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。

2. 平成 23 年 3 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は、予想期中平均発行済株式数により算出しております。

【個別】

項目 \ 決算期	平成 23 年 3 月期 (予想)	平成 23 年 3 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)	平成 22 年 3 月期 (実績)
1 株当たり配当金 (1 株当たり中間配当金)	12 円 00 銭 (6 円 00 銭)	— (6 円 00 銭)	15 円 00 銭 (5 円 00 銭)

(注) 平成 23 年 3 月期（予想）につきましては、その重要性を鑑み、連結通期業績見通しのみを開示し、個別の業績見通しについては開示いたしません。

本資料に記載されている当社グループの当期の連結業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断および仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場会社名 日本ケミカルリサーチ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 4552 URL <http://www.jcrpharm.co.jp>
 代表者 (役職名)取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名) 萬谷 哲志 (TEL) (0797) 32-8591
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	10,513	1.5	1,329	△12.1	1,297	△17.7	788	△36.6
22年3月期第3四半期	10,353	18.6	1,513	756.4	1,577	428.6	1,242	460.3

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第3四半期	24	68	24	33
22年3月期第3四半期	50	03	44	78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	29,902	22,542	75.1	696 11
22年3月期	29,148	20,483	70.2	700 80

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 22,471百万円 22年3月期 20,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	5 00	—	10 00	15 00
23年3月期	—	6 00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	6 00	12 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,600	1.5	1,530	△23.8	1,470	△21.0	1,000	△23.2	31 22

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	32,421,577株	22年3月期	29,344,654株
23年3月期3Q	140,374株	22年3月期	145,386株
23年3月期3Q	31,938,753株	22年3月期3Q	24,830,036株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におきましては、平成22年5月にキッセイ薬品工業株式会社との共同開発による腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」を発売し、平成22年7月には成長ホルモン製剤「グロウジェクト」に関する大日本住友製薬株式会社との販売提携契約を解消して成長ホルモン事業を譲り受け、同社から43名の出向社員を受け入れ販売体制の強化および効率化を図りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は前年同期に比べ1億59百万円（1.5%）増加して105億13百万円となりました。

セグメント別にみますと、医薬品事業におきましては、成長ホルモン製剤「グロウジェクト」については、販売数量は前年同期比3.7%増加いたしました。が、薬価基準引下げならびに成長ホルモン事業の集約を契機として販売特約店に支払う販売手数料を売上高から控除したことの影響により、売上高は前年同期に比べ2億9百万円（3.2%）減少して62億91百万円となりました。このほか既存製商品は、抗がん剤原体および尿由来製品も前年同期比で減収となりましたが、新製品「エポエチンアルファBS注JCR」の販売が寄与した結果、「グロウジェクト」を含む製商品の売上高は前年同期比5億10百万円（5.7%）増加いたしました。一方、契約金収入は、グラクソスミスクライン・グループからの初回契約金を計上した前年同期に比べて4億円（36.4%）減少いたしました。これらの結果、医薬品事業における売上高は、前年同期に比べ1億10百万円（1.1%）増の102億20百万円となりました。

医療用・研究用機器事業の売上高は、前年同期に比べ49百万円（20.2%）増加して2億92百万円となりました。

利益面におきましては、研究開発費負担が前年同期比3億80百万円（22.1%）減少いたしました。が、契約金収入の減少および税金費用の増加による影響が大きく、営業利益は13億29百万円（前年同期比12.1%減）、経常利益は12億97百万円（前年同期比17.7%減）、四半期純利益は7億88百万円（前年同期比36.6%減）となりました。

以上、売上高は前年同期比で増収となった一方で、営業利益、経常利益および四半期純利益は前年同期実績を下回る結果となりました。が、いずれの利益も期初予想を上回って推移していることから、通期業績予想を修正いたしております。修正の内容につきましては5頁「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

なお、セグメント別の売上高の状況は次のとおりであります。

セグメント別売上高

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		増減
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)
医薬品事業	10,110,660	97.7	10,220,934	97.2	110,273
医療用・研究用機器事業	243,170	2.3	292,204	2.8	49,033
合計	10,353,831	100.0	10,513,139	100.0	159,307

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は299億2百万円（前連結会計年度末比7億54百万円増）、負債合計は73億59百万円（前連結会計年度末比13億4百万円減）、純資産合計は225億42百万円（前連結会計年度末比20億58百万円増）となりました。

流動資産は、たな卸資産および売上債権が増加した一方、有価証券が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ10億32百万円減少して139億18百万円となりました。固定資産につきましては、主として神戸工場新棟の完成による有形固定資産の増加により、前連結会計年度末に比べ17億86百万円増加して159億84百万円となりました。

負債では、リース債務が増加した一方、本年5月付で転換社債型新株予約権付社債の全額が株式に転換されたことなどにより、前連結会計年度末に比べ13億4百万円減少して73億59百万円となりました。

純資産につきましては、転換社債型新株予約権付社債の転換などにより、前連結会計年度末に比べ20億58百万円増加して225億42百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ40億38百万円減少して、22億95百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況および主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、9億39百万円（前年同期比11億61百万円の支出増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益12億83百万円、減価償却費の計上額7億2百万円が計上された一方で、売上債権の増加額14億4百万円、法人税等の支払額7億80百万円、たな卸資産の増加額7億32百万円、未払金の減少額2億41百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、19億64百万円（前年同期比16億89百万円の支出増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出8億78百万円、投資有価証券の取得による支出5億50百万円、有価証券の取得による支出4億5百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、11億22百万円（前年同期比6億77百万円の支出減）となりました。これは主に、リース料の前払いによる支出4億46百万円、配当金の支払4億80百万円、リース債務の返済による支出2億9百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は期初予想と概ね同水準となりましたが、研究開発費および販売費が予想を下回ったことなどにより、営業利益、経常利益および四半期純利益はいずれも期初予想を上回る結果となりました。第4四半期連結会計期間におきましては、売上高は製商品の販売が期初予想を上回る見込みですが、第3四半期連結累計期間において未消化であった研究開発費の繰越発生が見込まれます。これらにより、平成22年5月14日に公表いたしました平成23年3月期の通期連結業績予想を次のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	14,400	1,320	1,320	830	25 92
今回修正予想（B）	14,600	1,530	1,470	1,000	31 22
増減額（B－A）	200	210	150	170	—
増減率（％）	1.4	15.9	11.4	20.5	—

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益は16,013千円減少しております。なお、営業利益および経常利益に与える影響は軽微であります。

② ①以外の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,712,628	1,901,996
受取手形及び売掛金	4,447,232	3,043,201
有価証券	1,890,896	4,333,929
商品及び製品	1,189,531	1,807,461
仕掛品	1,062,447	1,133,298
原材料及び貯蔵品	2,492,717	1,156,600
その他	1,129,911	1,579,429
貸倒引当金	△6,962	△4,944
流動資産合計	13,918,404	14,950,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,565,584	3,027,395
土地	3,604,920	3,604,920
その他（純額）	3,190,848	2,279,383
有形固定資産合計	10,361,352	8,911,699
無形固定資産	127,379	118,883
投資その他の資産		
投資有価証券	4,398,935	4,522,796
その他	1,268,992	816,388
貸倒引当金	△172,539	△172,539
投資その他の資産合計	5,495,388	5,166,645
固定資産合計	15,984,120	14,197,229
資産合計	29,902,524	29,148,202
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,322,086	914,855
短期借入金	1,759,000	1,782,800
未払法人税等	176,709	553,220
賞与引当金	175,890	225,679
役員賞与引当金	52,125	74,500
その他	1,583,383	1,811,057
流動負債合計	5,069,196	5,362,113
固定負債		
社債	—	2,000,000
長期借入金	675,200	634,800
退職給付引当金	49,380	51,913
その他	1,565,981	615,604
固定負債合計	2,290,561	3,302,318
負債合計	7,359,757	8,664,431

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,061,866	8,061,866
資本剰余金	10,778,544	9,779,147
利益剰余金	2,826,208	2,523,798
自己株式	△86,711	△83,912
株主資本合計	22,579,909	20,280,899
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△24,118	111,404
繰延ヘッジ損益	△129,673	4,998
為替換算調整勘定	45,286	65,410
評価・換算差額等合計	△108,506	181,814
新株予約権	71,066	20,825
少数株主持分	297	231
純資産合計	22,542,766	20,483,771
負債純資産合計	29,902,524	29,148,202

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	10,353,831	10,513,139
売上原価	2,784,724	3,517,693
売上総利益	7,569,106	6,995,445
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	6,055,908	5,665,881
営業利益	1,513,198	1,329,564
営業外収益		
受取利息	30,997	42,273
受取配当金	16,900	18,379
保険返戻金	24,542	—
研究開発負担金収入	32,530	—
受取補償金	15,000	—
負ののれん償却額	6,305	—
その他	12,263	35,485
営業外収益合計	138,539	96,137
営業外費用		
支払利息	52,309	43,557
為替差損	15,899	23,750
持分法による投資損失	—	56,706
その他	6,218	4,234
営業外費用合計	74,427	128,250
経常利益	1,577,311	1,297,451
特別利益		
投資有価証券売却益	14,487	5,225
特別利益合計	14,487	5,225
特別損失		
固定資産処分損	4,004	4,013
投資有価証券評価損	267,117	—
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	475	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14,783
その他	1,300	—
特別損失合計	272,896	18,796
税金等調整前四半期純利益	1,318,902	1,283,880
法人税、住民税及び事業税	348,174	426,417
法人税等調整額	△272,790	69,299
法人税等合計	75,383	495,717
少数株主損益調整前四半期純利益	—	788,162
少数株主利益	1,236	66
四半期純利益	1,242,282	788,096

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	4,317,953	3,476,855
売上原価	987,618	1,308,280
売上総利益	3,330,335	2,168,575
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	2,141,945	1,885,315
営業利益	1,188,390	283,259
営業外収益		
受取利息	7,622	14,585
受取配当金	7,308	7,322
研究開発負担金収入	32,530	—
受取補償金	15,000	—
受取保険金及び配当金	—	7,501
負ののれん償却額	6,305	—
その他	3,133	7,917
営業外収益合計	71,899	37,327
営業外費用		
支払利息	17,114	15,627
為替差損	24,874	7,935
持分法による投資損失	—	7,860
その他	1,568	1,174
営業外費用合計	43,557	32,598
経常利益	1,216,732	287,989
特別利益		
投資有価証券売却益	572	5,225
投資有価証券評価損戻入益	3,657	—
特別利益合計	4,230	5,225
特別損失		
固定資産処分損	△15	34
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	475	—
特別損失合計	459	34
税金等調整前四半期純利益	1,220,503	293,179
法人税、住民税及び事業税	316,132	80,912
法人税等調整額	△223,463	29,856
法人税等合計	92,668	110,768
少数株主損益調整前四半期純利益	—	182,410
少数株主利益	643	44
四半期純利益	1,127,191	182,366

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,318,902	1,283,880
減価償却費	537,964	702,974
投資有価証券評価損益(△は益)	267,117	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△14,254	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,503	2,018
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,523	△49,788
受取利息及び受取配当金	△47,898	△60,652
支払利息	52,309	43,557
為替差損益(△は益)	19,169	△6,985
持分法による投資損益(△は益)	—	56,706
売上債権の増減額(△は増加)	△1,892,949	△1,404,031
たな卸資産の増減額(△は増加)	△763,599	△732,118
仕入債務の増減額(△は減少)	254,646	407,230
未払金の増減額(△は減少)	488,262	△241,274
その他	44,496	△175,859
小計	236,140	△174,341
利息及び配当金の受取額	53,659	64,813
利息の支払額	△46,975	△43,602
役員退職慰労金の支払額	△6,080	△6,080
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△14,834	△780,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,909	△939,559
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	△200,000
定期預金の払戻による収入	800,000	—
有価証券の取得による支出	△100,000	△405,319
有価証券の売却及び償還による収入	800,058	100,031
有形固定資産の取得による支出	△1,098,008	△878,758
投資有価証券の取得による支出	△720,678	△550,354
投資有価証券の売却による収入	233,109	20,354
貸付けによる支出	△70,500	△50,000
貸付金の回収による収入	—	51,424
長期前払費用の取得による支出	△13,028	△19,005
その他	△5,752	△32,946
投資活動によるキャッシュ・フロー	△274,800	△1,964,572

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,000	△59,000
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△89,600	△124,400
リース債務の返済による支出	△176,079	△209,238
リース料の前払いによる支出	—	△446,078
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1,566,328	△3,400
配当金の支払額	△248,679	△480,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,800,687	△1,122,758
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,719	△11,990
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,863,298	△4,038,881
現金及び現金同等物の期首残高	5,620,523	6,334,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,757,225	2,295,557

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成22年5月6日付で、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の全額(2,000,000千円)が株式に転換されたことにより、資本金が1,000,000千円、資本剰余金が999,999千円、それぞれ増加しております。